

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

携帯型補聴援助システムを導入しました

聴覚障害者情報提供施設運営補助金「情報化対応特別管理費」による国と県の加算制度を活用して6年目。今年度は、約420万円の補助金を得て、ノンリニア動画編集装置の増設、携帯型補聴援助システムを整備しました。補聴器や人工内耳は会話音も雑音も同じように増幅するので聞き取りにくい場合が多いといわれています。そこでマイクは話し手の近くに置き、難聴者の補聴機器に音声信号を伝える補聴援助システムが聞き取りの改善にとても有効といわれています。

代表的な補聴援助システムは以下の4つの方式です。比較検討を行いました。

- ①誘導ループ方式 ②FM方式 ③赤外線方式 ④デジタルワイヤレス方式

結論として誘導ループ方式とデジタルワイヤレス方式を採用しました。11月末に納品の予定です。聞こえにくい方・興味のある方はセンターにお越しいただき、気軽にお試しください。

携帯型ヒアリングループシステム

推奨設置環境：福祉施設、老人ホーム、各種会議室、研修室など

- 持ち運びに便利なアタッシュケース型
- 20mループアンテナ付き(リールドラム型)
- BGMが流せるジャック付き
- ワイヤレスマイク2本まで使用可能(オプション)
- アンプ付きスピーカーと接続可能(オプション)



◆デジタルワイヤレス補聴援助システム「ロジャーシステム」

FM方式よりも電波が安定して取扱いが簡単で、ろう学校・難聴学級等に広く普及しています。送信機と受信機の組合せで稼働することができます。聞こえにくい方は、自分の補聴器・人工内耳をT回路にしてループを首にかけて受信する方法(A)と、マイクから直接受信できる補聴器で聞く方法(B)のいずれかを選択できます。



年末・年始のセンター休館のおしらせ

12月29日(日)～1月3日(金)は、当センターの休館とします。休館中に2～3回職員が交代で当番出勤を行う予定ですので、何かあればファックス(076-441-7305)願います。

センター利用の実績 10月21日～11月20日

- 来所者合計 467名
聴障者193名、健聴者274名
- コミュニケーション支援 134件
- ライブラリー貸出 0件 ● 相談対応 8件
- 部屋貸出 40件

- ★センター運営募金・募集郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者センターを支える会
よろしく願います。